



平成 28 年度 オリンピック・パラリンピック教育事業  
推進校実践報告書

- 1 学校名：南関町立南関中学校
- 2 実施日時：2017（平成 29）年 2 月 23 日（木）
- 3 対象：全校生徒（226 名）
- 4 派遣オリンピック：山本洋祐さん（柔道：ソウルオリンピック 銅メダル）
- 5 授業内容：講演・実技

2017（平成 29）年 2 月 23 日（木）に南関町立南関中学校にて、柔道でソウルオリンピックに出場された山本洋祐さんが、全校生徒 226 名を対象に、「人間力を高めるには」というテーマでご講演されました。

山本さんは冒頭で、「人間力をなくして競技力向上はない」と話されましたが、このような考えに至るまでには多くの時間を要したそうです。中学校時代は、やらされて柔道の練習をしていることが多かったのですが、高校に進学すると自分で練習メニューを考えるという学校だったため、そこから自分で考える柔道をするようになりました。負担もあったそうですが、この積み重ねのおかげで大学に進学したときには、すでに自分で自分の状態を知り不足部分を補うような練習を考える基礎が身についていたため、練習についていけず退部する人がいた中でも耐え抜くことができましたと話していただきました。

大学生のとき、ロサンゼルスオリンピックに出場するチャンスを掴んだものの、補欠となり出場する選手を見守ることしかできなかったときは、大変悔しい思いをしたそうです。その後は、それまで以上に自分を見つめ直し、自分に打ち勝つよう練習を積み重ねた結果、ソウルオリンピックで銅メダルを獲得されました。自分の立てた目標に向かって努力し、達成することが、みなさんにとっての金メダルだというメッセージもいただき、生徒からは、早速自分の考え方や生活習慣を見直そうと思ったという感想を聞くことができました。

実技では、柔道部員 4 名に技の指導をしていただきました。部員の中には、まだ中学生になってから柔道を始めたばかりの生徒もいましたが、生徒の実態に合わせて基礎を丁寧に説明していただきました。また、生徒からの「背負投げをしてほしい」というリクエストに応え、背負投げを披露していただきました。オリンピック出場選手の迫力ある技を目の前で見ることができ、この講演で一番の大歓声が沸き起こりました。

中学生という発達段階は、どんなことでも大きく成長できる可能性を秘めており、一番伸びる時期でもあるので、試行錯誤しながら有意義な日々を送ってほしいというメッセージは、実技に参加していない他の多くの生徒の心にも残ったようでした。

## 6 授業の様子



講演の様子



実技の様子（柔道を始めたばかりの部員もいましたが、丁寧に技の指導をしていただきました）



花束贈呈



記念撮影